

明るいまち



迎春

前途洋々

～新中3年生の皆さん～



広げよう、
ふれあいの心でまちづくり



社会福祉法人

会長 原田 志郎

ここ数年、コロナ禍で揺れ三密対策によって「人との交流・ふれあい・思いやり」といった社会基盤が壊されてしまうのではないかと心配しましたが、感染対策を図りながら各事業を実施してきたなかで、危惧していたような三密の弊害は少しずつ薄れてきたのではないかと思います。

本村は、まもなく開村130年を迎えます。明治26年に区画整理が終わり、東西は第35線から第49線、南北は北14号から南10号までの約78kmとなり、入植者は全国から集まりました。

昨年9月、本村にゆかりのある方から『新篠津村 神社・石碑巡り記』という自主出版した本が届きました。本村の神社・石碑・史跡等にまつわる内容が写真とともに綴られ、碑文の説明がなされており、本村の生い立ちや歴史を読み取ることができます。また、丁寧に取材を行います。調査された内容となっております。開拓に入植された人は

故郷を遠く離れ、異国の地で開墾に従事する時、何を求めているのでしょうか。秋に収穫ができるか、冬を越せるのか、春水

に對処できるか……。開拓者たちにとって、「祈り」が心の安らぎだったのではないでしうか。神社・祠は、人の動き（入植後）と同時に祈りの場として建てられました。以前は数多くの神社がありましたが、時の流れと共に合祀され、現在は5神社となつております。

神社は、こころの拠りどころ
「共同・連帯」の意識を深める
場所として存在しており、開拓
の歴史が綴られた場所でもあり
ます。石碑も同じく、開拓者の
思いが詰まった記念碑で、碑文
には後世に伝える思いが記述さ
れており、冊子を読んで再認識
したところです。

村の歴史には、過去、現在、そして未来があります。先人に畏敬の念を示し、よき未来にするため、より充実した福祉社会を築いていく所存であります。

村民各位からの一層のご指導
ご協力をお願い申し上げます。新年
のご挨拶といたします。

おめでとうございます

社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会
役職名（共募理事・監事兼務）

副会長 寺岡幸則
会長 原田志郎

理事

"

"

"

"

"

"

"

寺岡幸則 原田志郎

佐藤清美

田中哲夫

奥村呆夫

新居運工

八里寺 二

窪田守

林惠二

大村厚子

鈴木美鈴

坂本麗名

生活困窮者自立支援事業と成年後見制度に関する合同相談会を実施しています。生活の不安（家計のやりくり、就労、ひきこもり等）や、成年後見制度に関する相談を受け付けておりますので、事前にご予約いただくか、当日保健センターまでお越しください。今年度は残り2回となっております。

3月19日(火) 1月24日(水)

13時30分～16時30分

保健センター

赤い羽根にご協力

ありがとうございました

目標額1,121,000円 実績額1,151,492円 達成率102.7%
令和5年度 赤い羽根共同募金実績

募金総額 **1,151,492円**

(内訳) 事業所関係	125,000円
団体・個人	141,993円
募金箱設置協力	53,507円
戸別募金(各自治会)	715,500円
ピンバッジ	115,492円

(令和5年12月13日現在)

赤い羽根共同募金については、全額北海道共同募金会に納入し、道地域目標額を除いて村に配分され、各福祉団体や社会福祉協議会の事業に使用されます。



歳末たすけあい募金

ありがとうございました

目標額460,000円 実績額423,732円 達成率92.1%
令和5年度 歳末たすけあい募金実績

募金総額 **423,732円**

(内訳) 各自治会	400,000円
団体・個人	23,732円



※歳末たすけあい義援金は次のように配分されました

低所得世帯	18件	252,000円
在宅寝たきり高齢者世帯	1件	14,000円
母子・父子家庭世帯	2件	56,000円
在宅障がい者	7件	98,000円
施設(グループホーム)	1件	3,732円

(令和5年12月13日現在)

あたたかな善意をありがとうございます

令和5年9月22日から令和5年12月12日までに

ご寄付をいただいた方々は、次のとおりです。

【香典寄付】

- 渡 辺 顕 一 様 (あけぼの) 100,000円
- 林 智 子 様 (あけぼの) 100,000円
- 水 越 ユキ子 様 (袋達布) 50,000円

【一般寄付】

- 第2好悠会 様 (黎 明) 45,953円
- 北海道信用金庫 ひまわり財団 様 (札幌市)
..... 100,000円



【指定寄付】

- 新篠津村建設協会 様 (新篠津村) 200,000円
※村立保育所に係る衛生物資購入として



【物品寄贈】

- 株式会社ツルハホールディングス 様 (札幌市)
クラシエホールディングス株式会社 様 (札幌市)
..... 多機能車イス (肘跳ね上げ式) 5台



- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 様 (岩見沢市)
..... 清涼飲料水 240本



★車いすの貸出について



◆社会福祉協議会では、村に居住する方で、一時的な使用が必要な方に、車いすの無料貸出を行っております (原則1か月が限度)。

貸出申請は社協窓口まで印鑑をお持ちになってお越しください。申請用紙は社協ホームページ (<https://www.shinshinotsu-shakyo.jp/cont3/10.html>) からダウンロードできます。

☎この度、株式会社ツルハホールディングス様、クラシエホールディングス株式会社様から寄贈していただいた車イスは、足置き部分が取り外し可能で、介助用ハンドル部分を折り畳める仕様なので、コンパクトに収納することができます。

☆ KID's コンタクト ☆

◎たかくら保育園

10月31日にお遊戯会を行いました。オープニングは、全園児9名が、はつぴ姿で、ベットボットの蓋と牛乳パックを使って自分たちで手作りした鳴子を持って、『よさこいパッション』を踊りました。たくさん練習したかいもあり、体育館いっぱい『パッション』の掛け声が響き、バッチリときまり、観客の皆様からたくさん拍手をもらいました。子どもたちもとても喜んでいました。他にも各クラスのお遊戯や、青・黄組5名での楽器演奏、全園児で歌や手遊びなどをご披露することができました。ちよっぴりドキドキしながらも上手に演じた子どもたちに、先生たちからも“はなまる”を送ります。

9名で過ごすのも残り3か月となりました。思い出に残る毎日を元氣いっぱい過ごしたいと思います。



◎すくすく保育園

新年明けましておめでと〜ござい
ます。

新型コロナウイルスも五類へ移行になり、保育所の行事も少しずつ取り戻していくことができるようになってきました。雪も降り始め、雪遊びを心待ちにしている46名の元氣いっぱいの子どもたちです。

12月1日には、おもちゃつきを行いました。役員のお父さん方にもご協力していただき、杵を持って力いっぱいおもちゃをついたり、大きな声で『おもちゃつきの歌』を歌って応援し、みんなの気持ちのこもったおいしいおもちゃができました。お待ちかねの試食も「おいしいね」と、おかわりをする子もいましたよ。

今年も健康で、笑顔に満ちあふれた子どもたちでありますように願っています。



◎ひまわり保育園

新年明けましておめでと〜ござい
ます。

現在、男の子7名・女の子4名のひまわり保育園では、みかん組（2歳児・めろん組（1歳児）も毎日元氣いっぱい賑やかに過ごしています。長い廊下を急が切れるほど何往復も走り、鉄棒にぶら下がり、大きな口をあけて笑って楽しんでます。将来は世界を目ざす陸上選手や体操選手が現れるかもしれません（笑）。

これからも給食やおやつをしつかり食べて、怪我や病気をしないよう丈夫な体作りをすると共に心豊かに過ごしていきたいと思います。

今年もみんなの笑顔がたくさん見られますように。



◎子育て支援センター

今までコロナ禍でできなかった講習会を、やっと開催することができました。

まず昨年10月25日に、役場の管理栄養士さんを講師に「簡単おやつ講習会」を行いました。メニューは「さつまいもドーナツ」と「牛乳もち」。お子さんたちは、ボランティア連絡協議会のボランティアさんと遊んでもらい、その間にママたちはおやつを作りました。

12月4日は、外部講師をお招きして、ベビーマッサージを行いました。参加者の皆さん同士で自己紹介後、楽しく手遊びをし、いよいよマッサージ。ママたちは手にオイルをつけ、講師の動きに合わせて優しくお子さんの体を撫でていました。気持ち良くて寝てしまうお子さんもいましたよ。

これからも子育て支援センターを、是非ご活用ください。





募金活動の一環として毎年制作しております、赤い羽根共同募金のご当地ピンバッジの令和5年版が完成しました。今回も新篠津村中学校にデザイン協力をしていただきました。生徒間の投票で選ばれた3作品を共同募金委員会で最終審査した結果、最優秀賞に北川瑠々さん(2年)のデザインが採用されました。新篠津村のPRキャラクターのおこめちゃんがい羽根の中で気持ちよく寝ているイメージを可愛らしくデザインしてくれました。

R5年度
ピンバッジ完成!

次回の社協広報は
7月1日
発行予定です

完成したバッジは、10月より社会福祉協議会や、たつぷの湯(ガチャガチャ)で販売しています。



表彰された生徒の皆さん
(3年 松岡さん)(2年 北川さん)(1年 君野さん)

ワンポイントメモ

「心配事の8割は起らない」

保健師 細道 麗華氏

この言葉を聞いたとき、衝撃を受けました。私たちは、実際には起こらないことで頭を悩ませているのだ、と。調べてみると、8割どころか、9割起こらないなど諸説あることがわかりました。ある研究(ペンシルベニア大学ボルクヴェック他)では、心配事の79%は実際に起こらないという結論が20年以上前にすでに出ていました。よく考えたら、そうかも知れません。例えば、頭が痛くなり、悪い病気ではないか?と心配し、病院へ行ったとします。検査の結果は異常なし。でも頭は痛いし、心配はなくなりません。数日様子をみていたら、痛みが小さくなってきた。やっぱり、病院の言うとおり悪い病気ではなかった。1週間以上、折に触れて心配し続けただけ、結果は「実際に起こらなかった」79%となりました。(これは私の実話です)

1週間のうち6日は元気に過ごしていても、1日だけ何かあったらそればかり気にかかりますよね。1週間のうち6日と言えば85%です。実際には、1週間のほとんどです。私に限らず、ほとんどの時間を悩まなくて過ごしていたのに、そこには注目しない傾向が人にはあるのですが、心配を乗り越えた経験を重ねつつ、1週間のうち6日間は穏やかだったと自分を客観的に見るようにすると、心配しすぎを予防できるそうです。そうは言っても、心配しすぎないうちにすると、かえってそこに集中するという悪循環におちいることがあります。そういう時には、忙しい頭を休める時間を、意識的にとるのが効果的です。以前はひたすら寝ることや読書でしたが、最近の私は、体を動かすことがブームです。体を動かしていると、「今の時」に集中することができると、違うことが考えられないところが良いです。

【心配事の8割は起らない】は、事実だとわかりましたが、それでも心配な場合は、その心配から少し離れて、客観的に考えること、また、考えていることを実際に確かめてみることをおすすめします。その方法のひとつとして、社協の「心配ごと相談所」や、保健師への相談など、各機関の相談事業を、ぜひお気軽にご利用ください。

明るいまち

No.118

令和6年1月1日

発行者
社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会
TEL 0126-58-3335・FAX 0126-58-3356
e-mail:shakyo-shinshinotsu@public.email.ne.jp
ホームページ:https://www.shinshinotsu-shakyo.jp/

☎068-1100

石狩郡新篠津村第47線北13番地
(保健センター内)

印刷 株式会社組合印刷



この広報紙は、共同募金の配分金をうけて発行しております。